

仕様伺書

対象形式: JTY2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形式		JOB No.		承認	作成
貴社名		機番	一		
お名前		営業担当			
注番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。
標準設定値とは、一切のご指定がないときの値です。

■変換器設定項目

項目名称	出荷時設定値	標準設定値	備考
入力の種類* ¹	<input type="checkbox"/> オープンコレクタ <input type="checkbox"/> 電圧パルス <input type="checkbox"/> 2線式電流パルス	電圧パルス	指定なき場合は、電圧パルスとなります。
入力振幅 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	V _{p-p} (mA _{p-p})	5 V _{p-p}	これらの数値は、入力信号波形を正確に把握するために必要なものです。 端子間最大入力電圧は50Vです。
DCオフセット値 (電圧パルス、2線式電流パルスのみ記入)	V(mA)	2.5 V	
入力ゼロ比 dz (0 ≤ dz < ds)	%	0.00 %	入力0%に相当するデューティ比を指定して下さい。 入力ゼロ比は 0% ≤ (入力ゼロ比: dz) < (入力スパン比: ds) で、かつ 1 ~ 99% (ただし 0% は含む) の範囲でご指定下さい。
入力スパン比 ds (dz < ds ≤ 100)	%	100.00 %	入力100%に相当するデューティ比を指定して下さい。 最小入力スパン比は、(入力スパン比: ds) - (入力ゼロ比: dz) ≥ 20% です。 入力スパン比は、(入力ゼロ比: dz) < (入力スパン比: ds) ≤ 100% で、かつ 1 ~ 99% (ただし 100% は含む) の範囲でご指定下さい。
警報モード	<input type="checkbox"/> 上限警報 <input type="checkbox"/> 下限警報 <input type="checkbox"/> 警報なし	上限警報	警報を使用する場合は、上限または下限警報を指定して下さい。
警報検出レベル (-15.00 ~ +115.00 %)	%	100.00 %	警報を使用する場合は、-15 ~ +115% の範囲でご指定下さい。 警報なし時は無効となります。
警報検出レベルのヒステリシス (0.00 ~ 20.00 %)	%	1.00 %	警報を使用する場合は、0 ~ 20% の範囲でご指定下さい。 警報なし時は無効となります。
電源投入後 警報動作までの時間設定 (2.0 ~ 1000.0 秒)	秒	3 秒	電源投入後、警報が動作するまでの時間を設定します。 警報を使用する場合は、2.0 ~ 1000.0 秒の範囲でご指定下さい。 指定なき場合は、3 秒となります。
入力なし検出時間設定 (0.1 ~ 100.0 秒)	秒	1 秒	設定時間以上入力に変化しない場合、入力の状態によりデューティ比 0% または 100% 相当の値を出力します。
入力の論理設定	<input type="checkbox"/> 非反転 <input type="checkbox"/> 反転	非反転	非反転: 電圧、電流パルスでは H、オープンコレクタでは OFF 時のデューティ比を有効とする。 反 転: 電圧、電流パルスでは L、オープンコレクタでは ON 時のデューティ比を有効とする。
移動平均回数	回	4 回	入力の移動平均回数を設定します。 1 ~ 30 回の範囲でご指定下さい。 上側カット数 + 下側カット数 < 移動平均回数
移動平均上側カット数	回	1 回	移動平均回数のうち、上側カット数を設定します。 0 ~ 10 回の範囲でご指定下さい。
移動平均下側カット数	回	1 回	移動平均回数のうち、下側カット数を設定します。 0 ~ 10 回の範囲でご指定下さい。

* 1、入力波形になまりがある場合、精度範囲外となることがあります。ご使用する際は十分ご注意ください。

■出力リニアライズに関する項目(リニアライズが必要な場合のみ<記入例>の様に記入して下さい。)

入力信号() ^{*2}		出力信号() ^{*3}		入力信号() ^{*2}		出力信号() ^{*3}	
X(01)		Y(01)		X(11)		Y(11)	
X(02)		Y(02)		X(12)		Y(12)	
X(03)		Y(03)		X(13)		Y(13)	
X(04)		Y(04)		X(14)		Y(14)	
X(05)		Y(05)		X(15)		Y(15)	
X(06)		Y(06)		X(16)		Y(16)	
X(07)		Y(07)					
X(08)		Y(08)					
X(09)		Y(09)					
X(10)		Y(10)					

<記入例>

X(01)	0.00 (%)	Y(01)	4.00 (mA)	X(09)	80.00 (%)	Y(09)	17.58 (mA)
X(02)	10.00	Y(02)	6.37	X(10)	90.00	Y(10)	18.81
X(03)	20.00	Y(03)	8.42	X(11)	100.00	Y(11)	20.00
X(04)	30.00	Y(04)	10.25	X(12)		Y(12)	
X(05)	40.00	Y(05)	11.92	X(13)		Y(13)	
X(06)	50.00	Y(06)	13.47	X(14)		Y(14)	
X(07)	60.00	Y(07)	14.92	X(15)		Y(15)	
X(08)	70.00	Y(08)	16.28	X(16)		Y(16)	

* 2、入力 % をご記入する場合は“(%)”、デューティ比をご記入する場合は“(デューティ%)”として下さい。

* 3、出力信号のデータは % でも可能です。

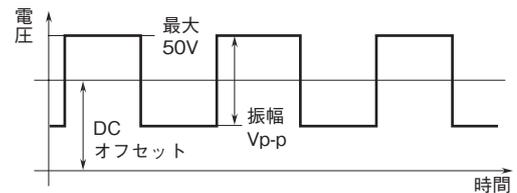
■入力の論理

入力種類	論理	入力
電圧パルス入力 2線式電流パルス入力 [ON電流(H) OFF電流(L)]	非反転	H L
	反転	H L
オープンコレクタ入力	非反転	OFF ON
	反転	OFF ON

入力の論理設定では図の太線部が対象になります。

■パルス波形

●電圧パルス波形



●2線式電流パルス波形

